

1 単元名 想ぞうしたことをつたえ合おう「モチモチの木」

2 単元の目標

- (1) 様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やすことができる。 (知識及び技能)
- (2) 登場人物の気持ちの変化や性格、情景について場面の移り変わり結び付けて具体的に想像することができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (3) 文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもつことができる。 (思考力、判断力、表現力等)
- (4) 学習の見通しをもって、進んで登場人物の気持ちの変化や性格、情景について考え、読み取ったことを伝え合おうとしている。 (学びに向かう力、人間性等)

3 単元について

(1) 教材観

本単元では、学習指導要領における「C読むこと」を受け、中心人物を意識してその気持ちを具体的に想像し、場面の移り変わりによる気持ちの変化を読み取っていくことで、中心人物に対する理解を深めていくことをねらいとしている。本教材は、中心人物の子供らしい感覚や行動がいきいきと描かれており、語り手の巧みな語り口と合わさり豊かに想像を広げながら読み取ることができる作品である。さらに、場面の変化も明確であり、中心人物の心情の変化を捉えやすい構成となっている。どの場面も「モチモチの木」に対する中心人物の気持ちが描かれており、場面の移り変わりと結び付け、人物像を想像する学習に適した教材である。

(2) 児童観

実態調査より、前単元の「サーカスのライオン」の学習を通して、叙述を基に気持ちを想像することが多くの児童に身についたのが分かる。しかし、中心人物の性格を意識して読んでいる児童は少ないことが分かった。さらに、物語文の読解において、叙述から想像できる中心人物の人物像を問う問題の正答率は\*%と低く、場面ごとの読み取りはできているが、それらを関連させて人物像を考える力には至っていないことが分かった。従って、叙述を基に中心人物の気持ちを捉え、それらを結びつけて想像していく学習を行う必要性が感じられた。

国語の学習に関する実態調査 (令和\*年\*月\*日実施)

国語ワークシート (物語文読解) における中心人物の気持ちの変化を捉える課題の記述分析及び意識調査の結果

登場人物の行動を叙述を基に正しく読み取れた児童の数	正答*名 誤答*名
登場人物の気持ちを叙述を基に正しく読み取れた児童の数	正答*名 誤答*名
登場人物の性格を叙述を基に正しく想像できた児童の数	正答*名 誤答*名
日頃の読書で登場人物の性格を意識して読んでいる児童の数	考えている*名 考えていない*名 どちらかというと考えている*名

(3) 指導観

指導に当たっては、叙述を基に豊かに想像を広げさせ、それらを結びつける工夫の必要があると考え。まず、論理的な読みとして、叙述を根拠として、登場人物の気持ちを捉えさせていく。交流する際に読み取った気持ちの根拠となる文に線を引くことで、読み取りと叙述の関連を視覚化する。交流の際に互いの意見が比較しやすくなり、自分一人では気付かなかった考えにも気付くことができると考える。そして、創造的な読みとして、人物像に迫る工夫を行う。教科書の叙述を基に話し合ったことを、場面ごとに整理することで、物語全体を通した様々な叙述を結び付けられると考える。複数の叙述を結び付け想像することで「豆太」の人物像を具体的に捉えさせて本校の研究テーマでもある創造的な読みに迫っていきたい。

4 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やしている。	①登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 ◎文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。	① 学習の見通しを持って、進んで、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しようとしている。 ◎ 考えたことを文章にまとめて伝え合おうとしている。

5 指導計画（9時間扱い、本時は第6時）

第一次 学習の見通しを持ち、語句調べを行ったり、物語の中心人物を確かめたりする。・・・2時間

第二次 場面ごとの登場人物の心情を叙述を基に捉える。・・・5時間

時	主な学習活動	知	思	主	評価規準【評価の方法】
1	第一場面を読み、じさまと一緒に暮らす「豆太」の気持ちや性格を読み取る。	○			・様子や行動、気持ちや性格を表す語句の量を増やしている。 【ノートの記述分析】
2	第二場面を読み、昼と夜のそれぞれの豆太の気持ちや性格を叙述を基に想像する。		○		・登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像している。 【振り返りカードの記述分析】
3	第三場面を読み、霜月二十のぼんの話聞いたときの豆太の気持ちや性格を叙述を基に想像する。				
④	<p>第四場面を読み、医者を呼びに走る「豆太」の気持ちや性格を叙述を基に想像する。</p> <p>1 第四場面を音読する。</p> <p>2 学習課題を確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 5px 0;">                     豆太はなぜ灯のついたモチモチの木を見ることができたのだろう？                 </div> <p>3 「豆太」の行動や様子が分かる叙述から「豆太」の気持ちを考える。</p> <p>(1) 「豆太」気持ち（勇気を出して行動していること）が分かる叙述に線を引く。</p> <p>(2) 線を引いた叙述を基にグループでどんな気持ちだったのかを話し合い、気持ち分かる叙述を書く。</p> <p>4 想像した「豆太」の気持ちについて全体で話し合う。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・付箋に書いたものを黒板のモチモチの木のイラストに貼ることで全体で、共有しながら、読み取った気持ちを話し合う。</li> </ul> <p>5 第四場面を「豆太はどんな子シート」に整理し、まとめる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・普段は怖がりだけどじさまを助けたくて、怖さや、痛さにも負けない勇気がある子。</li> <li>・普段は怖がるけれど、じさまのためなら頑張れる優しい子</li> </ul> <p>6 本時の学習についてふり返る。</p>				<p>&lt;第4時の評価規準&gt;</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;">                     ◎「豆太」の様々な恐怖心を読み取り、それらに負けずに頑張る豆太の勇気や、じさまに対する優しさを読み取っている。 【行動、ふりかえりカードへの記述】                 </div>
5	第五場面を読み、他の場面の叙述と関連付けながら「豆太」がどんな性格なのか想像する。		○	○	<p>・文章を読んで理解したことに基づいて、感想や考えをもっている。 【ノートの記述分析】</p> <p>・学習の見通しをもって、進んで、登場人物の気持ちの変化や性格、情景について、場面の移り変わりと結び付けて具体的に想像しようとしている。 【ノートの記述分析】</p>

第三次 中心人物の人物像についてまとめ、友達と伝え合う。・・・2時間